

# 下京図書館だより

## For Teens

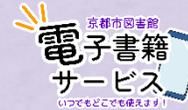
今回のテーマはずばり **“お仕事”**！

とはいえ、絶賛ティーンズ世代のみなさんにとって働くなんてまだまだ先のこと…進路とか仕事とか聞くのもやだ!という人も多いと思います。

そんなあなたに!! ちょっと変わった仕事や、みなさんと同じ年頃の主人公が働いている本をご紹介します。こんな仕事があるなんて知らなかった!という世界にひとつでも多く出会えるといいですね。



参考書は電子書籍でも  
充実しています!  
もちろん小説や趣味の  
本もありますよ ♡



令和6年  
7月発行

CHECK!

CHECK!

『なぜ僕らは働くのか』

池上 彰／監修 Gakken

ジャーナリストの池上彰さん監修の仕事について考える1冊。なぜ働くのか? どうやって仕事を決めるのか? 生活にかかるお金って? 勉強する意味とは? そもそもやりたいことってどうやって見つけるの? そんな様々な疑問にマンガを交えて解説。幸せになるために考えてみよう。



『中高生のスポーツハローワーク』

Gakken

スポーツを仕事にしたい中高生のための将来を考える1冊。実際に競技者になるだけではなく何かスポーツに関わることを仕事にしたい…。でもどういった仕事があるのか、どんな道に進めばいいのかわからないという人のために70以上の職種を紹介。今まで知らなかった仕事に出会えるかも…。



## 『ヴンダーカンマーここは魅惑の博物館』

榎崎 茜／著 理論社

博物館で職業体験をすることになった5人の  
中学2年生たち。博物館の仕事なんて想像もつ  
かないうえに、それぞれ魚類・古脊椎・鳥類・  
哺乳類・無生物に振り分けられてしまい、ばら  
ばらに仕事をするようになってしまう。初めて  
聞く言葉に戸惑う5人。未知なる博物館の仕事  
を通して、5人はなにを学ぶのか？



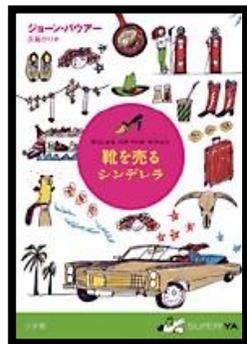
図書館でも職業体験の  
受入れをしているらしい…  
どんな仕事をするんだろう？

## 『靴を売るシンデレラ』

ジョン・バウアー／著

灰島 かり／訳 小学館

働き者のジェナは靴店で楽しくアルバイトをして  
いた。とにかく靴を売る才能があるジェナの  
働きぶりが店のオーナーの目に留まり、ひと夏  
の間オーナー専属ドライバーとして働くこと  
になる。同じ頃、アルコール中毒の父親がジェナ  
のもとに現れて…悩みながら自分の人生に立ち  
向かっていく現代版シンデレラストーリー。



## 『17歳のうた』

坂井 希久子／著 文藝春秋

家庭に居づらい彩葉は高校受験をあきらめ、  
祇園の舞妓になった。久しぶりに東京に帰っ  
てきて友人たちと再会するが、自身の生活との  
ギャップを感じてしまう。自分で選んだ道だけ  
どなんだか息苦しい…そんな彩葉の選択とは？  
ほか4人の少女たちの進路を描く青春短編集。

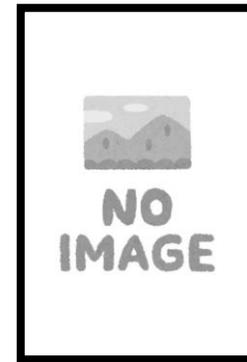


子どもの本コンシェルジュの  
オススメ

## 『僕たちの月曜日』

吉田 大介／編 KADOKAWA

綾瀬まる・一穂ミチ・小山健・夏川草介・古市憲  
寿の描く研修医・局のエースアナウンサー・50  
過ぎのテレビマン・子育てしながら自作の服を  
売り始めた主夫・編集者の男性が主人公のマン  
ガを含む短編5作品が収録されています。ま  
さに今の時代の悩みや奮闘が描かれています。



棚にない本は予約できます。

発行：下京図書館(公財)京都市生涯学習振興財団

〈住所〉〒600-8849 京都市下京区新町通松原下る富永町110-1

下京修徳ふれあい福祉会館4階(最寄駅：地下鉄「五条」駅・市バス「五条西河院」)

〈開館時間〉平日：午前9時30分～午後7時

土・日曜日・祝日：午前9時30分～午後5時

〈休館日〉火曜日(火曜が祝日の場合は翌平日)

